令和7年5月20日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和7年5月20日（火曜日）
午後1時30分から午後2時まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委 員 熊倉 達也 委 員 大久保 真紀
委 員 廣川 佳予子 委 員 恩田 富太

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

子ども未来部長	星野 麻美	教育部参事（科学博物館長事務取扱）	金垣 孝二
教育総務課長	佐藤 陽子	教育施設課長	野崎 敏行
学務課長	大竹 美加	学校教育課長	中村 一幸
学校教育課主幹兼管理指導主事	佐々木 潤	学校教育課主幹兼管理指導主事	小嶋 修
学校教育課主幹兼管理指導主事	本間 祐史	中央図書館長	梅沢 一茂
子ども政策課長	松木 祐子	こども家庭センター所長	大久保 千春
保育課長	江田 佳史	スポーツ振興課長	中山 玄

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 山内 清美 教育総務課庶務係長 今井 香

7 会議の経過

(金澤教育長) 教育委員会 5 月定例会を開会します。

◇日程第 1 会議録署名委員の指名について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、大久保委員及び恩田委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 31 号 条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び長岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正）

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 31 号 条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び長岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(江田保育課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

(金澤教育長) 続きまして報告事項に移ります。

(金澤教育長) 最初に、長岡市出産・子育て応援給付金事業実施要綱の廃止について事務局の説明をお願いします。

(松木子ども政策課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和 6 年度第 2 回長岡市スポーツ推進審議会報告について事務局の説明をお願いします。

(中山スポーツ振興課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(恩田委員) 先日、「ながおか Come100 スタートアップミーティング」に参加させていただきましたが、皆さんの意見としては概ね勝利至上主義の見直しという方向で足並みが揃っているように拝察しました。スポーツ推進審議会での意見交換などで意見が対立している様子がありますか。

(中山スポーツ振興課長) 運営主体となっている長岡市スポーツ協会がオブザーバーとして審議会に出席し、一緒に環境作りを考えています。支所地域で子どもから多世代にわたってスポーツクラブを運営している委員の意見としては、サッカーや野球などの部活動の中でメインとなってきた競技も大切ですが、学校の部活動にはない種目についても、教室などで活動をすることできっかけを与えているため、個人の指導にも寄り添い、やりたいと思えば一人でも参加でき、一緒に楽しめる環境整備を進めてほしいという意見があります。

(恩田委員) 一方で、チームスポーツで勝ちたいと思う子どもたちがいます。勝ちたい子どもたちはクラブチームに行く、という割り切りで進んでいくのでしょうか。

(中山スポーツ振興課長) サッカーや野球などの競技を例にとりますと、支所地域の中には一小学校・一中学校の地域もあることから、団体や単独で競技をやりたい子がいた場合には、近隣の地域と一緒に、集団の団体競技に参加できるようにするかどうか少し問題になっている部分があります。単独のチームを強くするという意味ではないものの、その地域の単独の中学校にこだわることで、やりたい競技ができなくなるという環境は避けるべきではないかと考えている支所地域の委員が多いです。

(恩田委員) スポーツに触れる機会を失わない環境作りを優先して考えているということですね。

(金澤教育長) スポーツ推進審議会は支所地域に限られた話ではなく、長岡市中心部の動きも含めて審議しています。旧来のように勝利を目指すのは悪いことではないものの、そのために子どもの成長を妨げることなどはあってはならない。勝つために何をしても良いとはならないよう、勝利至上主義を捨てましょうということで審議が進んでいます。支所地域の課題である人数が集まらないという話に限らず、審議会での考え方の齟齬は起きていないのかという御質問ですので、それについてはいかがでしょうか。

(中山スポーツ振興課長) 共通した認識と情報共有の中で、実施していただいています。考え方の齟齬についての議論については審議会では出ておりません。

(金澤教育長) 審議会の皆さんの考え方は、スタートアップミーティングでの考えたと概ね沿っていると考えていいですね。

(中山スポーツ振興課長) 方向性はよく理解していただいております。その上での支所地域の意見でした。

(恩田委員) 非常に強かった野球チームがチームを作れなくなり苦労していて、合併

する動きが出ていることも承知していますので、当事者として身につまされることでした。野球やサッカーが、特に「勝つ」という思いが強いというのは重々承知しております。

(金澤教育長) 私から一点、協議題ではないですが、③部活動地域展開の報告の中で、委員の方から何か御意見などはありましたか。

(中山スポーツ振興課長) 土日の移行からスタートするというので、今後、完全に部活動が地域移行となり地域で展開された時に、各地域の支援、例えば寺泊であれば海を使ったスポーツなどについて、完全に地域展開するまでには、将来的に環境を使った幅広い選択肢を用意していくことも考えていかななくてはいけないという課題の共有、意見がありました。また、主旨を理解して受け皿をしっかりと作っていくために、スポーツ推進審議会でも検討していく必要があるという意見をいただきました。

(金澤教育長) 市の動きについて理解をいただいているということですか。

(中山スポーツ振興課長) はい。

(金澤教育長) スポーツ推進審議会は推進員の方たちの会ですので、地域展開で考える第3層というか、今後の部活動の受け皿を作っているながおか Come100 クラブから、次の多様な活動を支えて主体となっていきたい方達になります。そういう意味では、既存のものではない活動も自分たちで作っていかなくては、という意見が出たということですね。

(中山スポーツ振興課長) はい。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(熊倉委員) 多様なスポーツに対する理解が進んでいる気がします。e スポーツの話題が出ていますが、スポーツ推進審議会の中でどの程度の位置づけが確立しているのでしょうか。商業ベースでいくつか教室があるようですが、審議会ではどのような議論がされているのか教えてください。

(中山スポーツ振興課長) e スポーツについては、市内で1団体、スポーツ少年団が立ち上がっており、そのスポーツ少年団の代表の方が審議会の委員に参画いただいています。実際に、デジタルの要素を使った個人志向という部分の中でスポーツの要素を取り入れていく、選択肢を一つ増やしていくということで、他のリアルな種目と同等の選択肢として進行しているところです。e スポーツに加えて、オリンピックで人気が高まっているスケートボードなどのアーバンスポーツも含め、いわゆる新しいスポーツの選択肢を広げる取組の中で推進しているところです。リアルなスポーツ活動とは少し離れている部分があることから、どの様に進行していくかについては、年代によって委員の中でも捉え方の濃淡があり、意見が分かれているのが率直なところです。私どもとしては、選択肢の一つとして取組を進めていきたいと思っています。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) 委員の中に、e スポーツを運営している代表の方がいらっしゃるという

ことですが、その方からは、周りの理解を得るためにeスポーツをスポーツとしてどのように定義されているのかなどのお話はありますか。

(中山スポーツ振興課長) eスポーツの手段としては、デジタルを使ってオンライン対戦型のゲームを行うというのが主流になっています。現在、アジア大会の中に種目としてeスポーツが入っていますが、手段としてリアルに対戦するわけではないものの、対戦するために技術を磨き、相手に勝つための努力をします。勝つことで精神的な高揚感を得る部分などは、リアルなスポーツ競技と同等の位置づけをしていると委員は言われています。

(恩田委員) バリアフリーの観点で、パラリンピックのように、障害者の方が参加される機会という考えや捉え方もあるのでしょうか。

(中山スポーツ振興課長) 新型コロナ禍以降、スポーツに対するデジタルの取組は変わってきました。昨年度、障害者施設で、健常者と障害者が一緒になって対戦型ゲームのeスポーツの体験会を開催しましたが、障害の有無に関わらず、ユニバーサルな視点で対等に対戦できるという意味では有効な手段であるという認識を持ち、そのような面からの取組も併せて進めているという状況です。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(廣川委員) 皆さんの意見を聞いて、将来的なイメージでお話させていただきます。長岡市の教育委員会は本当に多岐にわたる分野を網羅していると思いますので、eスポーツは、デジタルでオンラインで繋がるという意味では、不登校の子どもたちも社会的な繋がりや横の繋がり、あるいは対戦する喜びなどを見出せるきっかけになり得ると思いますので、連携しながらそういった仕組み作りも進めて行けたらとても素敵だなと思いました。

(金澤教育長) 教育的意義もその中に見い出していきたいということですね。

(中山スポーツ振興課長) 審議会の委員もそのような意識をお持ちの方がおり、委員が運営している教室では対戦が自由にできるのですが、長い間学校に行きにくくなっている状況のお子さんに繋がった場合は、eスポーツだけではなく、その繋がりについてもサポートをされています。今後そのような視点を入れながら、取組を進めていきたいと思います。

(大久保委員) 今の意見に付け足しですが、新潟市西区の福祉協議会が、eスポーツを不登校の子どもだけではなく引きこもりの方の支援に使っているということです。参考になる情報などを聞けるとと思います。

(金澤教育長) これをもちまして、報告事項を終了します。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について説明願います。

(梅沢中央図書館長) <資料に基づき説明>

(金垣教育部参事) <資料に基づき説明>

(松木子ども政策課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 催し案内について、御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 他に報告事項はありませんか。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。

(金澤教育長) ありがとうございました

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員